



# Fibre Channel Common Transport 管理セキュリティの設定

この章では、Cisco MDS 9000 シリーズ スイッチの Fibre Channel Common Transport (FC-CT) 管理セキュリティ機能について説明します。

## Fibre Channel Common Transport の概要

FC-CT 管理セキュリティ機能により、ストレージ管理者またはネットワーク管理者だけが、スイッチに対してクエリーを送信し、情報にアクセスできるようにネットワークを設定できます。このような情報には、ファブリック内のログイン デバイス、ファブリック内のスイッチなどのデバイス、デバイスの接続方法、各スイッチのポートの数、各ポートの接続先、設定済みゾーンの情報、ゾーンまたはゾーン セットの追加と削除の権限、ファブリックに接続するすべてのホストのホストバス アダプタ (HBA) の詳細などがあります。



(注)

Cisco MDS NX-OS Release 6.2(9) では、FC 管理機能はデフォルトで無効です。FC 管理機能を有効にするには、**fc-management enable** コマンドを使用します。

FC-CT 管理クエリーを送信し、管理サーバへの要求を変更できる pWWN を設定できます。いずれかのモジュール (ゾーン サーバ、ゾーン分割されていないファイバチャネル ネーム サーバ (FCNS)、またはファブリック コンフィギュレーション サーバ (FCS) など) が FC-CT 管理クエリーを受信すると、FC 管理データベースに対する読み取り操作が実行されます。FC 管理データベースでデバイスが検出されると、付与されている権限に基づいて応答が送信されます。デバイスが FC 管理データベースにない場合は、各モジュールが拒否を送信します。FC 管理が無効な場合、各モジュールが各管理クエリーを処理します。

## 設定時の注意事項

FC 管理セキュリティ機能には、次の設定に関する注意事項があります。

- Cisco MDS スイッチで FC 管理セキュリティ機能が有効な場合、管理クエリーを送信するデバイスのポート ワールドワイド ネーム (pWWN) が FC 管理データベースに追加されていないと、サーバへのすべての管理クエリーが拒否されます。
- FC 管理を有効にすると、N\_Port Virtualization (NPV) スイッチから N\_Port Identifier Virtualization (NPIV) スイッチへの FC-CT 管理サーバクエリーが拒否されます。FC 管理セキュリティ機能を有効にした後で、NPV スイッチのスイッチ ワールドワイド ネーム (sWWN) を NPIV スイッチの FC 管理データベースに追加することが推奨されます。

## Fibre Channel Common Transport クエリーの設定

FC-CT 管理セキュリティを設定するには、次の手順を実行します。

	コマンド	目的
ステップ 1	switch# <b>config terminal</b>	コンフィギュレーションモードに入ります。
ステップ 2	switch(config)# <b>fc-management enable</b> switch(config)#	FC-CT 管理セキュリティを有効にします。
ステップ 3	switch(config)# <b>fc-management database vsan 1</b>	FC-CT 管理セキュリティ データベースを設定します。
ステップ 4	switch(config-fc-mgmt)# <b>pwwn 1:1:1:1:1:1:1:1 feature all operation both</b>	pWWN を FC 管理データベースに追加します。また、 <b>pwwn</b> コマンドを設定するときには次に示すオプションのキーワードも使用できます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>fcs</b>: ファブリック コンフィギュレーション サーバに対する FC-CT クエリーを有効または無効にします。</li> <li>• <b>fdmi</b>: FDMI に対する FC-CT クエリーを有効または無効にします。</li> <li>• <b>unzoned-ns</b>: ゾーン分割されていないネーム サーバに対する FC-CT クエリーを有効または無効にします。</li> <li>• <b>zone</b>: ゾーン サーバに対する FC-CT クエリーを有効または無効にします。</li> </ul>
ステップ 5	switch# <b>show fc-management database</b>	設定された FC-CT 管理情報を表示します。

## Fibre Channel Common Transport 管理セキュリティの確認

**show fc-management database** コマンドは、設定されている FC-CT 管理セキュリティ機能の情報を表示します。(例 10-1 を参照)。

### 例 10-1 Fibre Channel Common Transport クエリーの表示

```
switch# show fc-management database
-----
VSAN PWWN FC-CT Permissions per FC services
-----
1 01:01:01:01:01:01:01:01 Zone (RW), Unzoned-NS (RW), FCS (RW), FDMI (RW)
1 02:02:02:02:02:02:02:02 Zone (R), Unzoned-NS (R), FCS (R), FDMI (R)
1 03:03:03:03:03:03:03:03 Zone (W), Unzoned-NS (W), FCS (W), FDMI (W)
-----
Total 3 entries
switch#
```

FC 管理セキュリティ機能が有効であるかどうかを確認するには、**show fc-management status** コマンドを使用します。

```
switch# show fc-management status
Mgmt Security Disabled
switch#
```

## デフォルト設定値

表 10-1 に、Cisco MDS 9000 ファミリ スイッチの FC 管理セキュリティ機能のデフォルト設定を示します。

表 10-1 デフォルトの FC 管理設定

パラメータ	デフォルト
FC-management	ディセーブル

■ デフォルト設定値